

松本系魚川連絡道路「意見交換会」概要報告

多くの住民の皆様をはじめ、関係者のご協力により開催しました「意見交換会」の概要についてまとめましたので、報告します。

なお、紙面の都合により内容が抜粋となっておりますのでご了承をお願いします。

「意見交換会」の開催概要と意見・提言の概要

1 開催概要

- 期間、場所：平成13年9月から12月
東筑摩郡波田町、南安曇郡および北安曇郡の13市町村毎に開催
- 参加人数：664名(延べ1,698名)

市町村名	グループ数	参加者数	開催期間	開催回数(のべ)
波田町	1	22	11月 7日 ~ 12月 3日	3 (3)
豊科町	1	12	9月 20日 ~ 11月 20日	4 (4)
穂高町	7	128	9月 18日 ~ 12月 7日	3~6 (30)
梓川村	1	14	10月 4日 ~ 11月 8日	2 (2)
三郷村	2	31	9月 25日 ~ 11月 5日	2~3 (4)
堀金村	3	44	9月 26日 ~ 11月 27日	5~6 (14)
大町市	6	83	9月 26日 ~ 11月 22日	3~4 (18)
池田町	2	36	10月 3日 ~ 11月 29日	4 (7)
松川村	5	70	10月 2日 ~ 11月 21日	3~4 (14)
八坂村	2	34	10月 4日 ~ 10月 29日	2 (4)
美麻村	1	19	10月 1日 ~ 11月 9日	3 (3)
白馬村	8	110	9月 26日 ~ 11月 27日	3~4 (22)
小谷村	4	61	9月 28日 ~ 11月 30日	3~4 (10)
計	43	664		2~6 (135)

合同報告会は1回とした

2 意見交換会の進め方

活発な意見交換のため人数に応じてグループ分けを行い、グループ単位で意見交換を行っていただきました。運営は参加者の自主的な運営を基本とし、司会および記録を参加者に行っていただきました。

数回の意見交換で出されました意見・提言はグループ毎にまとめていただくとともに、複数のグループができた市町村では最後に合同報告会を行いました。

3 意見交換会の意見・提言の主な意見

注：～の項目は意見・提言等の整理を行う上で設定したものです。

以下の意見・提言等は、グループ毎に意見交換会を通じてまとめていただいたものから整理しました。

道路行政全般について

- ・ 財政が厳しい中で道路計画の見直しが必要
- ・ 自動車から公共交通や自転車へ方向転換、道路建設より社会福祉など道路整備以外へ転換を
- ・ 道路網の整備が遅れると、これから市町村合併が進めば一層不安
- ・ 採算性、将来性を十分考慮する必要がある
- ・ 道路の新設はさらに維持管理費が増える、これ以上必要ない
- ・ 全ての交通手段を考えて検討するべきである
- ・ いろいろな意見を広く聞いて反映して欲しい
- ・ 一般財源は他の公共投資へ など

地域の課題、問題点(まちづくり、自然、生活)

- ・ 大町以北は国道148号が一本のみで産業道路化している、交通渋滞がおきている
- ・ 国道148号は交通安全、騒音、排気ガス等による生活環境の悪化を強いられている
- ・ 高速のインターから遠すぎる
- ・ 災害時、大町以北で大変な不便を感じた
- ・ 農道や山麓線を車が高速で走り農作業ができない、国道を渡れない
- ・ 安曇野の景観を守る必要がある、環境を守るために道路は必要ない
- ・ オリンピック道路により、白馬以南の必要性は薄い、これ以上道路はいらない
- ・ 産業、商業、農業が衰退している道路建設より先にやることあるのではないか
- ・ 渋滞は感じない 渋滞している
- ・ 美しい景観や農業を守るためにも道路以外の様々な側面から考えるべき など

道路の必要性(建設の是非)

- ・ 広域の道づくりは必要
- ・ 大町以北の道路状況を考えると道路は必要、代替交通網の整備が必要
- ・ 生活道路と広域的交通路(産業道路)の分離が必要
- ・ 町の活性化につながる、経済的効果は大きい
- ・ 安曇野の自然環境、景観を損なう地域高規格道路は必要ではない
- ・ 大町以北へ信頼性の高い道路が必要だが高規格道路ではなく生活道路整備が必要
- ・ 道路ができれば発展するという考えは過去のもの、高規格道路で産業や観光は活性化しない
- ・ 費用便益についてもっと検討すべき、現時点で妥当かどうか再検討すべき
- ・ 緊急性を感じない、現道の整備が急務、生活道路の改良整備で十分
- ・ 自然を破壊し、便利を追求する考えはやめるべき など

整備手法、ルート案

- ・ 豊科を起点に高瀬川左岸ルート
- ・ バイパス的道路を考えて欲しい
- ・ 堤防道路を拡張、オリンピック道路を4車線にすればよい
- ・ 既存の道路を最大限に利用
- ・ 自然環境と騒音、公害及び景観に配慮
- ・ 小谷の方を優先に、災害の起こらない道づくりを
- ・ 活断層の危険、優良農地をつぶさなければならぬ など

今後の進め方について(住民参加、広報、情報提供、合意形成)

- ・ 松系に関する予算計上せず県の中立の立場を明確に
- ・ 我々の意見が住民の全てを網羅していない、更に多くの意見を聞くべきである
- ・ この道路について徹底的の周知を図り、県民、行政が必要性再検討することを要請
- ・ 市民の意見をまとめるにはアンケート等や署名が必要
- ・ 各地域の諸問題を住民公開で各論にわたる討論を行い解決手法を見出すべき
- ・ 住民参加による評価基準を策定、住民意見を聴く機関を設置し、合意形成の手続きを踏んで結論を
- ・ 知事に現状を見て欲しい など

意見交換会について

- ・ 会の考え方を県は整理し望むべき、住民の自主性に逃れてはならない
- ・ 出された意見が、計画や地域社会に対してどのような形で反映されるのか疑問
- ・ 意見が知事にどのように届くのか方法を明らかに
- ・ この会の内容を広報等で住民に知らせてほしい
- ・ 全体の意見ではない、参加できなかった住民の意見を汲み上げる必要がある
- ・ この会の意義に疑問
- ・ 住民の声を聴く場を設けたことは評価
- ・ 他グループ、他市町村、広域の意見交流が必要
- ・ 農業や商工、観光関係の人や行政、議員も含めたより広範囲から意見を聞くべき など